

アンケート実施日：平成 26 年 10 月 28 日

【受講者数：60 名 アンケート回収枚数：54 枚 回収率：90.0%】

1 以前から「デートDV」や「デートイング・バイオレンス」について知っていましたか。

- | | |
|----------------|------|
| a. 言葉も内容も知っていた | 28 名 |
| b. 聞いたことはあった | 24 名 |
| c. 知らなかった | 2 名 |

2 講座の内容はいかがでしたか。

- | | |
|-----------------|------|
| a. とても参考になった | 36 名 |
| b. 参考になった | 17 名 |
| c. ふつう | 1 名 |
| d. あまり参考にならなかつた | 0 名 |
| e. 参考にならなかつた | 0 名 |

3 デートDVについての理解が深まりましたか。

- | | |
|----------------|------|
| a. よく理解できた | 39 名 |
| b. 理解できた | 15 名 |
| c. ふつう | 0 名 |
| d. あまり理解できなかつた | 0 名 |
| e. 理解できなかつた | 0 名 |

4 (1) 交際経験はありますか。

- | | |
|-----|------|
| はい | 42 名 |
| いいえ | 11 名 |
| 無回答 | 1 名 |

(2) (1) で「はい」と答えた方にお聞きします。以下の選択肢から当てはまるものを一つ選んでください。

- | | |
|-------------------------------------|------|
| a. 交際相手に暴力をふるったことや交際相手から暴力を受けたことはない | 39 名 |
| b. 交際相手に暴力をふるったことがある | 0 名 |
| c. 交際相手から暴力を受けたことがある | 1 名 |
| d. 交際相手暴力をふるったことも、交際相手から暴力を受けたこともある | 2 名 |

5 講師のお話の中で印象に残った言葉を教えてください。

- ・恋愛幻想について。それぞれの自分らしさをもった関係が健全ということは、すごく納得した。
- ・5人に1人の女子高生・女子大生がデートDVを受けているということに驚きました。
- ・デートDVは身近な問題であり、誰にでも起こりうるということ。
- ・具体的な解決にむけた取り組みの話。

- ・DVが男女間のみで発生するものではなく、同性同士でも発生すること。ほんの小さな会話もDVになりうるのだと思った。
- ・見物人の話がとても勉強になったと思いました。
- ・星さん。
- ・デートDV体験者が18歳までで、女子4人に1人、男子6人に1人。
- ・暴力の種類は様々であること。デートDVはDVと同じくらい難しい問題であること。
- ・すごく聞きやすくて分かりやすかった。携帯を渡して見させることで暴力につながる人が多い。デートDVって怖いと思った。
- ・暴力容認について。部活動中、家庭内、状況が変われば条件も変わる、なんてことはない。納得でした。
- ・DVは見えないところに隠れている。暴力は学びであり遺伝ではない。
- ・暴力を暴力と認めていかなければならない。
- ・リストカットのホルモンについて。
- ・恋愛幻想の話とリストの仕組みが印象に残りました。
- ・リストカットをする星さんの言葉がけ。
- ・暴力の起こる仕組みというのが良く分かりました。
- ・DVをする人の二面性の問題。DVを受けている人が自覚をしていないことの問題。
- ・自分にも本当に身近な問題だということ。
- ・公の場でやっていけないことは、小さなコミュニティの中でもやってはいけないということ。
- ・ロールプレイで、相手を束縛することの話は分かりやすかったです。
- ・「尊重のない会話」の例示内で、むしろそうして欲しいと答えた人がいると聞いた時。
- ・教育現場にも暴力と支配の関係やリストカットの話を生かせるかなと思いました。
- ・DV防止法は夫婦間、同棲中の人にしか適用されないと聞いてがっかり。星さんは、洗脳されるなどの普通とは違った心理になることがある。
- ・暴力は力を奪っていく。
- ・1 is 2 many.
- ・トラウマティック・ボンディングに関する部分。
- ・暴力を容認してしまうケースが多いと知り、私が星さんになった場合も、相談を受ける立場になった場合も気を付けなければならないと思いました。
- ・5人に1人がデートDVで暴力にあっているという現状は初めて知った。テレビの権力なんてものは、我が家では当たり前のようにあったので、DVにあたることとは知れず、驚いた。
- ・星さんという呼び方がファンシーでつらい。それもまたラベリングなのでは？ Bさんの方が余計な印象を与えなくて良い呼び方だと思う。
- ・リストカットは自分のかかえている苦しみを一瞬マヒさせることができる。
- ・暴力を受けている人への対応の仕方がとても勉強になりました。その人がとても心配であるために、別れた方が良く強く勧めたり、リストカットの行為自体を止めようとする、かえって困惑させてしまうということは、知っておくべきことだと思いました。真っ先に友人に相談する人が多いのなら、対応への知識・理解を広めていくことがとても大切だと思いました。
- ・相談を受けたときの対応の仕方。
- ・デートDVの多さや被害の多さに驚きました。暴力容認の空気など納得しました。
- ・身近にデートDVが発生した時の対応についてです。「〇〇に相談してみなさい」という提案や安全について一緒に考える、寄り添い方が大切なんだと思いました。

- ・家の中と外でやっていいことの基準が変わるという話。
- ・暴力の種類について。
- ・暴力を受けながら離れられないという心理は、一部で何らかの作品に昇華？されていることがあるな
と思いついて聞いていました。
- ・実例や例え話がまじっていて分かりやすかったです。

6 疑問や質問があればお書きください。

- ・デートDVを未然に防げるように、私たち（第三者）は何をしてあげたらいいですか。養護教諭として何を教えてあげたらいいですか？
- ・女性の活躍や女性を尊重している世の中にしようという風潮が大きい中、女性ばかりが尊重されてしまう場面があると思いますが、その点についてはどう考えれば良いのか？
- ・身近に多くの暴力があると言うことを再確認しました。もっと、こういう話が広まってほしいし、相談できる場所の情報が分かりやすいといいと思いました。
- ・自分が星さんであることを認めたくない友達に、どのように声をかけたらいいですか？
- ・DV防止法は、男女のみですか？同性愛者には適用されないのですか？
- ・トラウマティック・ボンディングの愛してる、別れたくないと本気で思ってしまうことが分らない
です。
- ・HPとかなら工学部との連携すれば良いか？
- ・DVを受けた側の、トラウマの克服方法。
- ・今日、ちょうど彼氏から「地元の友達にごはん誘われた。行ってきていい！」と聞かれました。結局のところ、友好関係で必要なら行っていいよ、ということで行ってもらいました。でも、一方で女の子と二人でごはんを聞くと、ショボンとなる自分、行ってほしくないと思う自分がいるのも事実です。（自分も行くことあるので、お互い様だなーと彼を信じますが）。ちなみに、逆の立場のときもしばしば……。微妙ならラインで難しいです。また、上のような気持ちを持つこと、行ってほしくないと言うことはだめなのでしょうか？

7 その他、ご感想をご自由にお聞かせください。

- ・今まで知らなかったのが勉強になりました。
- ・他人事と思わずに気を付けたいと思いました。
- ・今回のような講演を開いていただくことで、少しずつではありますが、デートDVは減少するのではないかと思います。
- ・周囲の人や生徒に対して、アドバイス、接し方を学べた。役立てていけるようにしたい。
- ・デートDVについて聞いたことはあったけれど、細かい内容は知らなかったのがとても良かった。お忙しいところ、ありがとうございました。
- ・デートDVや、DV全般に関する様々なことを知れて、非常に有意義な時間でした。去年は、授業の都合で不参加となってしまったので、今年は参加できて良かったです。ありがとうございました。
- ・リアルな体験談も併せてとても具体的で参考になりました。ありがとうございました。
- ・とても参考になるお話でした。本当にありがとうございます。今後、自分や周囲の人々がデートDVにあっている可能性がある時、このお話を思い出して、より良い解決をしたいと思いました。
- ・すごく分かりやすく、おもしろい例をいれて説明してくれて良かったです。もしいたら、相手（友達）の心をいやしなから助けてあげたい。
- ・分かりやすい例えのおかげで、とてもすんなりと内容を理解していくことができました。

- ・非常に参考になりました。今までの自分の助言や相談の聞き方が、いかに問題を軽視していたか・・・と思うと申し訳なくて、これから変えていきたい。
- ・デートDVについて、暴力だけがDVだと思っていたので、言葉や経済的、精神的なものもDVだとは思わなかった。
- ・知っていたことも、知らなかったことも多くありました。
- ・こんなに根が深い問題だとは思いませんでした。そして、こういうことも暴力に入るのかと気付かされました。
- ・とても参考になった。身近の起きていることとして、デートDVを受け止めようと思った。
- ・上記のロールプレイは、分かりやすかったことはそうなのですが、「常識」を押しつけることが危険ということも言ってもよかったのかな、と思いました。デートDVとは違う話になってしまいますが。
- ・自身も、暴力を容認する所はあったのかもしれないと感じた。この考えを、改めようとする。
- ・具体的な事例が多く、とても分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・友達の相談がデートDVっぽいなと思ったので、面倒だと思わず聞こうと思いました。
- ・親がDV受けてたっぽかったのですが、子には責任ないと言う専門の方の言葉が聞いて楽になりました。
- ・西山さんが全体に対して話すとき、表情がシリアスで（まゆが八の字になっていたり）見ていて疲れました。また、資料P 3、9、11、12において、男性→女性の暴力が表現されているが、女性→男性、同性間の描写がなく、DVの認知を広げにくいのでは？
- ・DVの種類やサイクルなど、多面的に深く知ることができ、とても分かりやすかったです。なかなか本人も周りも気付けないというのも難しい問題だと思いました。今日得た知識を、実生活で忘れないように、もし友人や自分にそのようなことがあっても、冷静に考えられるようにしなければならぬと思いました。
- ・思った以上に、デートDVに苦しんでいる人がいることを知り、何とか被害を減らせる努力ができないものなのかと思いました。
- ・その時はデートDVだとは思わなかったけど、今考えてみると、あれはデートDVだったなと思い当たる節がありました。その問題は、もう解決しています。今日は勉強になりました。ありがとうございました。
- ・10枚目のスライド恋愛幻想の中で、健全な関係とはプライベートの生き方も大切にする関係だというお話、本当にそうだと思いました。自分を大切にすることが、相手を大切にすることにつながるということを実感しました。
- ・理論的なものは良く分かったので、実体験やルポなどを読んでみたかったです。
- ・暴力がどこからかという認識が人によって違うことや、トラウマティック・ボンディングなどデートDVを受けている人の心理がDV防止において難しいと思いました。
- ・今日はありがとうございました。

8 あなたについて教えてください。

18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	27歳	無回答
10	8	6	12	12	2	1	3

男性…… 13名

女性…… 39名

無回答…… 2名